

地域活性化の新たな取り組み

■地域おこし協力隊員招致事業
【総務費】(新規) 552万円
(企画総務部 企画政策課)

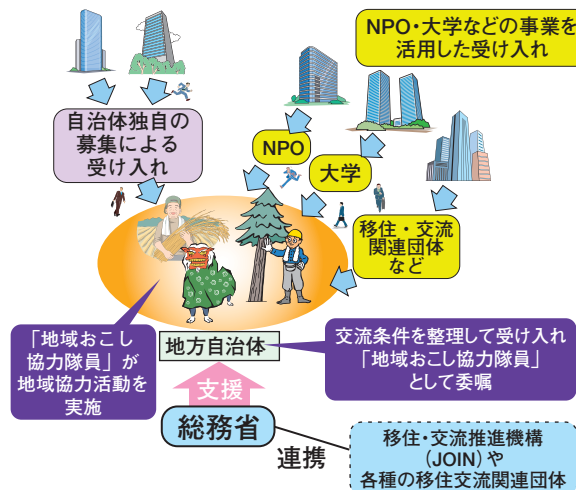
定住人口の増加と地域の活性化を図るため、総務省の「地域おこし協力隊」の制度を活用し、都市部に住む、健康で、地域活動に意欲と情熱を持つかた2人を「地域おこし協力隊員」として招致し、市内の地域・団体が求める地域協力活動に従事いただきます。

活動期間は平成22年7月から平成23年3月末までの予定とし、地域おこし協力隊員を受け入れる地域・団体は、公募により選定します。

総務省の地域おこし協力隊について

～意欲ある都市住民(若者など)を、地域社会の担い手に～
平成21年度に300人程度 3年後に毎年3,000人規模をめざす

- 地域おこし協力隊員
＝おおむね1年以上3年以下、地域で生活し、農林漁業の応援、水源保全・監視などの地域協力活動を実施
- 地方自治体
＝都市住民をさまざまな方法で募集して受け入れ、地域おこし協力隊員に委嘱。地域協力活動をコーディネート(定住・定着に向けたフォローアップも別途実施)
- 総務省
＝地方自治体に対して、財政措置、情報提供などにより支援



地域協力活動

市内の地域・団体が主体的に取り組む事業に対し、地域おこし協力隊員がその地域・団体の一員となり、互いに協力しながらその事業を推進する以下のような活動をしています。

- 地域行事、コミュニティ活動その他の地域おこしの支援活動
- 地域活性化に資する起業活動、起業支援活動その他の仕事おこしの支援活動
- 市民活動団体の支援活動
- 地域資源の発掘および振興に関する支援活動
- 農林水産業の支援活動

2 農林業の振興

広がる農業振興策

■農業振興地域整備計画策定事業
【農林水産業費】(継続) 1,053万円
(農林水産環境部 農政課)

農業振興地域の適正な管理を行うため、全市域を対象とした農業振興地域整備計画の見直しを平成22年度から平成23年度の2か年で行い、平成27年度までの5年間の新たな農業振興地域整備計画を策定します。



農業振興地域整備計画書と土地利用計画図

■茶生産振興対策事業費補助金
【農林水産業費】(継続) 530万円
(農林水産環境部 農政課)

平成16年度から京都府の支援を受け、国営開発農地などで茶の振興に取り組んでいます。茶産地として、将来的に茶園を100畝規模まで拡大する計画であり、共同利用機械の導入による省力化を進め茶生産の振興を図ります。このため、茶生産組合などに対し茶園拡大に係る新植費用ならびに共同利用機械導入に係る費用の一部を支援します。



茶葉摘採機

■パイプハウス等整備事業費補助金
【農林水産業費】(継続) 2,160万円
(農林水産環境部 農政課)

京丹後市では、京野菜ブランドである水菜の栽培を振興しています。生産性を向上して市場へのさらなる安定的な供給を行い、栽培農家の所得向上を図るために、京野菜栽培用のパイプハウス整備を支援します。



パイプハウスで栽培されている九条ねぎ

■地域循環型農業支援事業補助金
【農林水産業費】(拡充) 320万円
(農林水産環境部 農政課)

平成22年度から、堆肥等補助事業、生分解性マルチ補助事業を統合し、さらなる地域循環型農業を推進するため、販売を目的とした農産物を生産する農業者などを対象として、堆肥、緑肥などの有機肥料や液肥(京丹後市エコエネルギーセンター液肥)、生分解性マルチフィルム、光崩壊性マルチフィルムなどの購入経費の一部について支援します。



有機肥料

「有機農業推進計画」を策定へ

■有機農業推進計画作成経費
【農林水産業費】(新規) 23万円
(農林水産環境部 農政課)

有機農業への関心が増し、関連した取り組みが進む中、環境にやさしい安全・安心な農業を推進するため、農業者、農業関係機関、消費者、有識者などによる検討会を組織し「有機農業推進計画」を策定します。



有機農業推進計画書

都市と田舎の交流を支援します

■都市農村交流支援事業補助金
【農林水産業費】(新規) 25万円
(農林水産環境部 農政課)

京丹後市農山漁村体験型旅行協議会が行う農林漁業体験交流事業、農家漁家民宿起業支援、魅力ある農山漁村づくり、子ども農山漁村交流など、グリーン・ツーリズムによる都市住民との交流活動を支援します。



ツリーハウス体験・久美浜町蒲井

農村集落の活性化

■農村コミュニティ再生・活性化事業
【農林水産業費】(新規) 71万円
(農林水産環境部 農政課)

グリーン・ツーリズムやエコ・ヘルスなどの「ニュー・ツーリズム」に注目し、ツーリズム講演や農家民泊起業セミナーを開催して、農村集落の地域住民や市民に対して気付きの場を提供するとともに、農村集落の活性化を図ります。



グリーン・ツーリズム講演

豊かな農山村の資源を活用

■農山村環境を活かした観光交流事業
【農林水産業費】(新規) 30万円
(農林水産環境部 農林整備課)

市内の豊かな農山村の資源(自然・食べ物・生き物など)を活用した、観光・交流のまちづくりを進めるため、農山村の環境を活かした、安心・安全な農作物を食べ歩く交流事業などを開催し、都市住民との交流を図ります。



桃・梨園(久美浜町蒲明)